

平成27年度事業報告

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材・団体等を育成し、それらの積極的な活用を推進するため、次の事業を行う。

1. 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬の自然・歴史・文化・人物など多様な分野の学習を通して但馬の再発見し、地域に対する誇りや愛着心の醸成を行うとともに、新しい但馬づくりの担い手を育成することを目的に講座を開催した。

また、若い世代に対しても郷土の魅力を伝えるため、夏休みに子供たちを対象とした「ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー」を開催した。

(1) ふるさとづくり大学

- ① 期 間 平成27年5月9日開講、11月28日閉講
- ② 会 場 養父市、豊岡市
- ③ 受講者数 108名 <修了者74名（10講座以上出席者）>
- ④ 講座内容 9日間13講座（現地学習含む）

日 時	内 容
5/9(土)	<開講式> ① 『山陰海岸ジオパーク、神秘の海中世界』 講師 / 中谷 英明 氏（鳥取県政ジオバイザリースタッフ）
6/6(土)	② 『イギリス文化と但馬』 講師 / サマンサ バロウ 氏（豊岡市 国際交流員） ③ 『但馬の鉄道遺産 山陰線鉄道工事の足跡』 講師 / 岡部 良一 氏（元中学校社会科教師、郷土史家）
7/11(土)	<現地学習> ④ 『ふるさと但馬めぐり～但馬の偉人に学ぶ～』 （山田風太郎、東井義雄、出石の歴史散策(宗鏡寺、資料館、明治館)）
8/1(土)	⑤ 『但馬の殿様』 講師 / 吉盛 智輝 氏（但馬史研究会） ⑥ 『空き家活用を創造的視点から』 講師 / 金野 幸雄 氏（一般社団法人ノオト 代表理事）
8/29(土)	<但馬文教府第48回夏期大学－特別講座－> 『自分らしい生き方を～今こそ一歩前へ～』 講師 / 家田 荘子 氏（作家/高野山真言宗僧侶） ⑦ 『祖国は甦る』 講師 / 青山 繁晴 氏（近畿大学経済学部客員教授/作家/国家戦略アナリスト） 『地方都市がんばれ』 講師 / 安藤 忠雄 氏（東京大学名誉教授/建築家）
9/5(土)	⑧ 『但馬の古墳』 講師 / 櫃本 誠一 氏（大手前大学 史学研究所 客員研究員）

10/3(土)	⑨ 『円山川の魚類と氾濫原環境再生の試み』 講師 / 佐川 志朗 氏 (兵庫県立大学大学院 准教授) ⑩ 『山陰海岸国立公園』 講師 / 篠崎 さえか 氏 (環境省 竹野自然保護官事務所 自然保護官)
11/7(土)	⑪ 『生の芸術と触れ合って』 講師 / 橋本 麻希 氏 (城崎国際アートセンター アートコーディネーター) ⑫ 『史跡 竹田城跡』 講師 / 田畑 基 氏 (朝来市埋蔵文化財センター 館長)
11/28(土)	第一部：受講生自主研究発表会 ⑬ 第二部：講義『琵琶湖疏水を築いた北垣国道』 講師 / 白木 正俊 氏 (京都大学大学院文学研究科博士後期課程、大阪府立大学講師) <閉講式>

(2) ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー

- ① 開催日 平成27年8月8日(土)
- ② 会場 生野銀山(朝来市)
- ③ 受講者数 34名 (小学校3生から6年生)
- ④ 講座内容 生野銀山坑道内見学
生野銀山文化ミュージアム(生野鉱物館)見学
純銀粘土を使ったシルバーアクセサリー製作体験

2. 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

(1) 第10回但馬検定

- ① 試験日 平成27年9月20日(日)
- ② 試験会場 兵庫県立但馬長寿の郷
- ③ 試験結果

	1級(80点満点)	2級(80点満点)	3級(100点満点)	計
受験者数	33人	35人	76人	144人 (前回140人)
合格者数	6人	12人	50人	68人
合格率	18.2% (前回40.5%)	34.3% (前回52.8%)	65.8% (前回88.1%)	47.2% (前回66.4%)
平均点	60.8点	54.7点	74.0点	
最高点	74点	71点	97点	
最年少合格者	35才	38才	24才	
最高齢合格者	70才	80才	70才	
合格基準	70点以上	60点以上	70点以上	

(2) 検定PR事業

各種イベント等におけるPR及び、検定に向けた学習ポイントの解説を行う事前学習会や各種団体を対象にミニ検定講座を実施し、但馬検定への受験意欲を高めた。

① ミニ検定講座

平成27年6月16日 みてやま学園 21名参加

② 事前講習会

平成27年9月5日 養父市内で実施 53名参加

平成27年9月9日 豊岡市内で実施 37名参加

3. 但馬人材(講師)派遣支援事業

地域活動を実践する団体が行う講演会や、自主研究・学習に対し、講師派遣の要請に対応するとともに講師費用に対して助成を行った。

① 助成実績 1団体(1件) 10千円

② 助成団体 楓の会(銭太鼓を学ぶグループ)

4. 観光ガイド育成支援事業(新規)

但馬各地で活躍する観光ガイドのガイド技術の向上や情報交換を図るため、観光ガイドとして必要な知識や技能等を学ぶ研修を実施した。

① 実施日 平成27年11月17日(火)

② 対象 但馬地域で活動する(ボランティア)ガイド

③ 受講者数 16団体23名

④ 研修内容 好感を持たれる接し方、魅力的なガイド方法の基本、外国人観光客へのおもてなし、英会話レッスン 等

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1. 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催する広域的で大規模なイベントを行うため、実行委員会に対して事業費の一部を支出した。

(1) 但馬“牛まつり”

① 開催日 平成27年9月27日

② 来場者数 16,000人

③ 支出金額 3,249千円

(2) 但馬・食文化まつり

① 開催日 平成27年10月24日～25日

② 来場者数 32,000人

③ 支出金額 3,249千円

2. たじま田舎暮らし推進事業

但馬地域への移住・定住を促進するため、「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、移住希望者への情報提供や相談対応を行った。

(1) 情報発信

たじま田舎暮らしポータルサイト「田舎でたじま暮らし」や田舎暮らしのPRイベントに参加し、但馬地域での田舎暮らしに関する情報を移住希望者に発信した。

- ① ホームページによる情報発信（アクセス数 28.3 末現在）

ユニークアクセス PV 数	78,798 件	(92,490 件)	前年比 85.2%
ユニークアクセス訪問者数	27,495 件	(29,976 件)	前年比 91.7%
- ② 出張相談臨時相談所開設

平成 27 年 8 月 22 日	大阪市内
平成 28 年 2 月 21 日	神戸市内

(2) 移住相談、物件紹介

但馬地域への移住や空き家の活用等の相談に対し、各市町、兵庫県宅地建物取引業協会と連携して対応した。

- ① 相談件数 5 件
- ② 主な相談内容 物件情報、但馬での生活、起業相談など

3. 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

(1) 地域情報発信事業

- ① 但馬ツーリズムマップ (vol.11) の制作
但馬の多彩な魅力を発信し、交流人を増やすことを目的に制作した。
 - ・部数 10,000 部
 - ・配布先 観光協会、道の駅、観光施設など
- ② 英語版まち歩きガイドの制作 (新規)
但馬を訪れた外国人観光客が、訪問先で使うことのできる「まち歩きガイド」を制作。エリアごとに両面 A4 サイズの使い勝手の良いものに仕上げた。
 - ・内容 主要 JR 駅周辺の散策マップ、二次アクセスの紹介、ATM や外貨の両替などの情報掲載
 - ・部数 5 地域 (城崎、竹野、香住、浜坂、湯村) 計 16,500 枚
 - ・配布先 主要な JR 駅、宿泊施設、観光協会など

(2) ホームページ「但馬情報特急」の運営 (拡充)

但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し提供した。また、但馬を訪れる外国人の増加に対応し、外国語の自動翻訳機能の導入、スマートフォンの急速な普及に対応してスマートフォン版「但馬情報特急」サイトを構築した。

- ① アクセス数 (28.3 末現在)

ユニークアクセス PV 数	1,423,841 件	(1,548,649 件)	前年比 91.9%
ユニークアクセス訪問者数	656,863 件	(708,031 件)	前年比 92.8%
- ② 外国語自動翻訳機能 28 年 2 月～
- ③ スマートフォン対応 28 年 3 月～

(3) 但馬ふるさと特派員グループによる情報発信

ボランティアグループ「gr但馬ふるさとnet」(会員数14名)の協力を得て、ホームページ「但馬情報特急」を通じて、但馬の地域資源、イベント、生活情報などの四季折々の最新情報を発信した。

スマートフォン版「但馬情報特急」サイトの構築に合わせ、スマホやタブレットなどから特派員ブログが投稿できるフォームを開発して、簡便にかつタイムリーな情報発信を行った。

(4) 情報誌「T2」発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

また、27年11月に「日本タウン誌フリーペーパー大賞2015」ライフスタイル部門、優秀賞を受賞した。

- ① 発行時期 年4回〔夏(6月)、秋(9月)、冬(12月)、春(3月)〕
- ② 発行部数 各9万部
- ③ 仕様 A4判カラー印刷(20ページ)
- ④ 配布先 但馬内7万部、但馬外2万部配布
※ 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、近隣官公庁、金融機関、旅行社、報道機関等
- ⑤ プレゼント企画 T2誌面上で但馬検定ミニクイズを実施。年4回、各50名に但馬の特産品(主にスイーツ)をプレゼントした。
応募総数 1,058名

(5) ラジオ番組提供

阪神間へ但馬の最新の地域情報を提供するため、ラジオ番組の放送により情報発信を行った。

- ① 提供番組 ラジオ関西「おもしろ但馬木曜日」
- ② 放送日時 月2回〔第2、第4木曜日 午前9時40分～45分(5分間)〕
- ③ プレゼント企画 毎月1回抽選で但馬の特産品プレゼント企画を実施し、125名にプレゼントした。

(6) その他の地域情報発信事業

- ① 但馬・食文化まつり2015へのブース出展
 - ・日時 平成27年10月24日(土)、25日(日)
 - ・内容 但馬検定ミニクイズ、観光パンフレットの配布
- ② コウノトリ翔る但馬まるごと感動市へのブース出展
 - ・日時 平成27年11月7日(土)、8日(日)
 - ・内容 パネル展示、ミニクイズ、観光パンフレットの配布
- ③ 第21回神戸ルミナリエ観光ブースの活用
 - ・日時 平成27年12月8日(火)
 - ・場所 神戸東遊園地内
 - ・内容 観光パンフレットの配布、但馬の認知度アンケート
- ④ 広報ショーウインドウ「ひょうご情報ステーション」の活用
 - ・期間 平成27年7月17日(金)～7月31日(金)
 - ・内容 ポスター掲示など

4. 首都圏PR推進事業

首都圏における但馬の知名度向上を図るため、大規模観光イベントへの参加や、マスメディアなどを活用した、効果的な情報発信を行った。

(1) ツーリズム EXPO ジャパン 2015 への参加

- ① 日程 平成27年9月24日(木)～9月27日(日)
- ② 場所 東京ビッグサイト
- ③ 内容 ブース出展、但馬の観光PR、クイズラリー、但馬牛の試食等実施。
国内商談会 商談件数：養父市8件、朝来市14件
メディアによる取材・掲載に成功
インバウンド商談会 商談件数：豊岡市36件
海外からの視察、旅行商品開発につながる
- ④ 来場者 一般・観光関係団体・観光事業者等 173,602人

(2) 情報発信

- ① メルマガ会員(会員数1,644人)に対する週1回ペースでの情報発信
- ② 「旅頃WEBプロモーション」事業の実施
概要：楽天(株)に委託し、城崎・豊岡、竹田・天滝、湯村・香住の3つのエリアで年齢等の対象を絞り、プロモーションを行った。
内容：楽天WEBページ上での特設サイトの展開 9月28日～10月25日
クーポン券の発行 (@2,000円×250枚) 9月28日～10月25日
短編動画CMの配信 10月30日～11月5日

5. 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、来但者の増加を促すことを通じ、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともに、会員を通年募集した。

(1) 加入状況

但馬内	但馬外				1年会員	3年会員	合計	備考
	県内： 但馬除	近畿内： 県外	近畿外	小計				
932	854	281	188	1,323	1,395	860	2,255	H27.3末
836	573	258	182	1,013	899	950	1,849	H28.3末
△96	△281	△23	△6	△310	△496	90	△406	

(2) 会員に対する特典の付与

- ① 施設割引等サービス(236施設)
- ② 但馬情報直送便
年4回発行(配布：夏/6月、秋/9月、冬/12月、春/3月)。T2をはじめとする但馬の旬の情報をダイレクトメールで届けた。
- ③ 但馬の特産品プレゼント企画
年4回、会員を対象に各40～50名に但馬の特産品が当たるプレゼント企画を実施した。応募総数 1,191名
- ④ 優待企画の実施
会員を対象に但馬内の8つの美術館等への入場無料券を提供した。
 - ・実施期間 平成27年6月15日(月)～平成27年12月25日(金)
 - ・対象施設 植村直己冒険館 他7施設
 - ・来場者数 197名

(3) 入会 PR 事業

新聞紙上、各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 日本海新聞紙上でのプレゼント企画(3年会員権プレゼント)
平成27年8月30日、平成28年1月16日掲載 新規加入20名
 - ② 各種事業との連携によるプレゼント企画
 - ・但馬検定事業との連携 1,2級合格者への特典 新規加入14名
 - ・周遊バス「たじまわる」乗客の応募の中から抽選 新規加入10名
 - ③ その他イベントでの勧誘活動
 - ・但馬・食文化まつり(H27.10.24~25)
 - ・朝来市成人式会場にてPR(H28.1.10)
- ※ほかの市町では新成人へ勧誘チラシを配布した。

Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

自然環境保全運動等のための地域住民運動を盛り上げ、但馬の美しい自然環境を積極的に守るため、次の事業を行った。

1. 魅力ある但馬の森・川・海・里環境保全事業

(1) 美しい但馬づくり支援事業

自然環境保護のための清掃活動、地域の環境保全活動、地球温暖化防止及び環境学習等に取り組んでいる団体に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。

・助成状況	〔清掃活動〕	1団体	1,150円
	〔環境保全・創造活動〕	3団体	60千円

(2) クリーン但馬支援事業

クリーン但馬10万人大作戦の活動に要する経費の一部を助成した。

- ・助成団体 クリーン但馬10万人大作戦推進協議会
- ・助成額 100千円

(3) サケ回帰促進支援事業

河川・水質環境保全運動の普及啓発を目的に、但馬管内各小学校にサケの発眼卵を提供し、その育成学習を行ってもらえるなどの「サケ回帰促進事業」に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。

- ・助成団体 岸田川漁業協同組合
- ・助成額 200千円

2. その他但馬ふるさとづくり事業

(1) 自然環境学習事業

「NPO法人コウノトリ市民研究所」にホームページ但馬情報特急内の、子どもたちが自然環境学習をできるコーナー「たじまのしぜん」を運営委託した。

H17.12月から毎月4件以上のペースで投稿を継続している。

- ・委託額(年間) 240千円(20千円/月)

IV 新しい但馬づくりのための調査研究に関する事業

但馬地域における様々な課題の解決策や将来を展望するための施策・方向性を提起するための調査研究事業を行い、新しい但馬づくりに資するため次の事業を行った。

1. 但馬の魅力調査研究事業

(1) 調査研究支援助成金交付事業

北但大震災90周年を節目に、震災からの復興を振り返るとともに今後のまちづくりのために克服すべき課題解決への取り組みとして行った「城崎温泉まちづくりフォーラム」に対して助成を行った。

- ① 助成団体 城崎このさき100年会議
- ② 助成金額 200千円

(2) 「びっくり！但馬の偉人伝」の制作（新規）

但馬が誇る先人の功績等をわかりやすく紹介し、但馬の歴史、人物に対する知識を深めるとともに郷土への誇りや愛着心を醸成するために制作した。

- ① 内 容 但馬出身の先人たち（加藤弘之ほか11人）の生い立ちや功績を紹介。挿絵などを入れて子どもたちにも分かりやすいものに仕上げた。
- ② 発行部数 5,000部
- ③ 配布先 但馬管内小学校5、6年生

V 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1. 理事会

(1) 第45回理事会

- ・期日等 平成27年5月18日（月）
豊岡稽古堂

(2) 第46回理事会

- ・期日等 平成27年6月18日（木）
定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第47回理事会

- ・期日等 平成27年12月17日（木）
定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(4) 第48回理事会

- ・期日等 平成28年2月8日（月）
じばさん但馬

2. 評議員会

(1) 第10回評議員会

- ・期日等 平成27年6月4日（木）
じばさん但馬

(2) 第11回評議員会

- ・期日等 平成27年12月24日（木）
定款第18条第4項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第12回評議員会

- ・期日等 平成28年3月8日（火）
じばさん但馬